

2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 日和産業株式会社
 コード番号 2055 URL <http://www.nichiwasangyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中澤 敬史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長・総務部長 (氏名) 安井 秀夫

TEL 078-811-1221

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	40,950	22.2	73	79.1	160	63.1	97	67.6
2022年3月期第3四半期	33,519	13.4	353	36.0	434	28.5	302	28.8

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 42百万円 (%) 2022年3月期第3四半期 318百万円 (38.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	5.41	
2022年3月期第3四半期	15.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	32,952	17,261	52.4
2022年3月期	29,046	17,409	59.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 17,261百万円 2022年3月期 17,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		6.00	6.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	6.9	300	154.9	400	84.5	200	71.7	11.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	20,830,825 株	2022年3月期	20,830,825 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	2,718,918 株	2022年3月期	2,718,918 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	18,111,907 株	2022年3月期3Q	19,311,948 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスによる行動制限が緩和され経済活動が緩やかに持ち直す一方、年末にかけて感染が拡大していることに加え、為替相場の急激な変動や長期化するウクライナ情勢等の影響により、先行き不透明な状況が一層強まっております。

配合飼料業界におきましては、主原料であるとうもろこしは、ロシアのウクライナ侵攻による供給不安が続く中、南米の天候不順による生産量減少懸念から価格が高止まりしております。副原料である大豆粕の価格も、とうもろこしと同様に南米産大豆の作柄悪化懸念から高騰しております。外国為替相場につきましては、日米の金利差により大幅に円安に進みましたが、米国の景気後退懸念や日銀の金融緩和策の修正等により円安に歯止めがかかり、不透明な状況が続いております。

畜産物市況につきましては、鶏卵相場は、鳥インフルエンザの影響により生産量の減少となり、価格は大きく上昇しました。鶏肉相場は、円安による輸入価格の上昇や物価の上昇による堅調な需要等から、価格は上昇を続けております。豚肉相場は、輸入価格が上昇したことから安定して推移してはりましたが、年末にかけて需要が減少し、前年を下回りました。牛肉相場は、需要は回復傾向にありますが、価格はほぼ横ばいで推移しております。

このような状況のなか、当社は4月、7月、10月の3度にわたり、配合飼料価格の値上げを行いました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高409億50百万円（前年同期比22.2%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は73百万円（前年同期比79.1%減）となり、経常利益は1億60百万円（前年同期比63.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は97百万円（前年同期比67.6%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

飼料事業

飼料事業では、前年に引き続き3度にわたり値上げを行ったことから、売上高は397億24百万円（前年同期比22.9%増）となりましたが、原材料価格が上昇したため、セグメント利益（営業利益）は3億50百万円（前年同期比38.7%減）となりました。

畜産事業

畜産事業では、売上高は12億26百万円（前年同期比2.6%増）となったものの、飼料価格の高騰のため、セグメント損失（営業損失）は36百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）13百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ39億6百万円増加し、329億52百万円となりました。これは、主に現金及び預金が38億3百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が60億88百万円、原材料及び貯蔵品が12億24百万円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ40億54百万円増加し、156億91百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が39億21百万円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億48百万円減少し、172億61百万円となりました。これは、主に繰延ヘッジ損益が1億64百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表した連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,617,584	3,814,246
受取手形及び売掛金	10,580,819	16,669,640
商品及び製品	141,536	211,840
仕掛品	349,223	452,193
原材料及び貯蔵品	2,535,556	3,760,438
その他	1,024,209	960,932
貸倒引当金	△377,456	△597,939
流動資産合計	21,871,473	25,271,352
固定資産		
有形固定資産	5,603,173	5,982,608
無形固定資産	7,953	7,367
投資その他の資産		
長期貸付金	1,203,298	1,231,289
破産更生債権等	1,809,044	1,649,323
その他	807,843	868,104
貸倒引当金	△2,256,526	△2,057,444
投資その他の資産合計	1,563,659	1,691,272
固定資産合計	7,174,786	7,681,248
資産合計	29,046,259	32,952,601
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,858,870	9,780,399
短期借入金	4,269,000	4,269,000
未払法人税等	99,829	-
賞与引当金	100,531	48,120
その他	1,121,270	1,387,674
流動負債合計	11,449,502	15,485,193
固定負債		
長期末払金	84,240	84,240
退職給付に係る負債	20,542	21,613
資産除去債務	82,080	100,080
固定負債合計	186,862	205,933
負債合計	11,636,364	15,691,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,011,689	2,011,689
資本剰余金	1,904,186	1,904,186
利益剰余金	13,898,113	13,889,712
自己株式	△722,067	△722,067
株主資本合計	17,091,921	17,083,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	259,990	284,737
繰延ヘッジ損益	57,983	△106,783
その他の包括利益累計額合計	317,974	177,954
純資産合計	17,409,895	17,261,474
負債純資産合計	29,046,259	32,952,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	33,519,115	40,950,848
売上原価	31,567,224	38,927,443
売上総利益	1,951,891	2,023,405
販売費及び一般管理費	1,598,677	1,949,581
営業利益	353,214	73,823
営業外収益		
受取利息	15,885	15,404
受取配当金	18,410	22,815
売電収入	38,627	40,626
為替差益	75,583	49,260
その他	58,472	69,397
営業外収益合計	206,978	197,503
営業外費用		
支払利息	44,008	42,318
支払手数料	43,090	43,660
売電費用	18,255	16,717
設備修繕費	20,467	1,821
その他	329	6,527
営業外費用合計	126,150	111,045
経常利益	434,042	160,281
税金等調整前四半期純利益	434,042	160,281
法人税等	132,033	62,370
四半期純利益	302,008	97,910
親会社株主に帰属する四半期純利益	302,008	97,910

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	302,008	97,910
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,977	24,746
繰延ヘッジ損益	2,916	△164,766
その他の包括利益合計	16,894	△140,020
四半期包括利益	318,902	△42,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	318,902	△42,109
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。